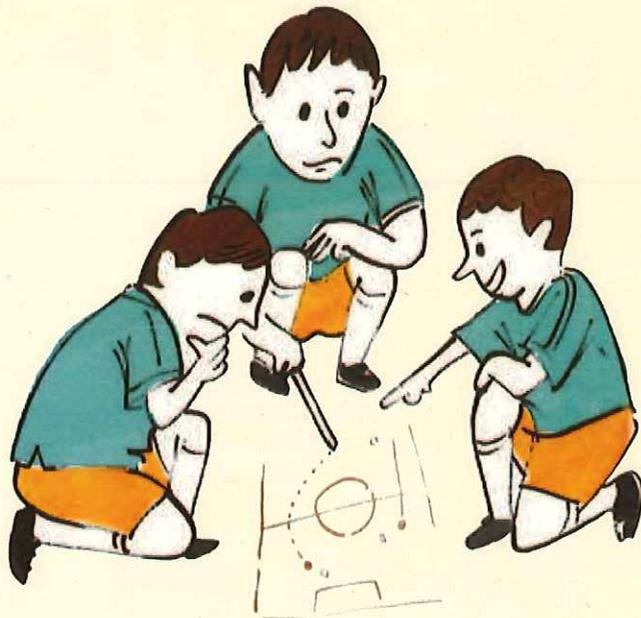


Navi.4

いつでもどこでも  
常に子どもをサポート

# 根本的な部分への アプローチ

サッカーの練習だけでは変わらないこと



私たちは、日本のサッカーを強くするために、子どもたちに何をどのように教えていったらいいのかをずっと考えてきました。

初めのうちは、サッカーのプレー自体のことばかりに目を向けてきました。どういうプレーを、どういうふうトレーニングしていったらいいのだろうか。そういうことを中心に考えてきました。

しかし、最近になって、「判断」が足りないことに気づきました。日本の選手は言われたことを言われたとおりにやることには非常に優れていますが、とっさのとき、状況が変わったときに、自分自身で的確な判断を下して行動することが苦手です。

サッカーは広いピッチで11人の味方が協力し合って11人の相手に対し、1つのボールをめぐるプレーするスポーツです。しかもボールを足で扱うものなので、手を使うほど正確にはいかず、さまざまな状況が起こります。いつもコーチが指示したとおりのことばかりが起こるわ

けではありませんし、仲間と相談しなからやれるわけでもありません。そんな中で、いつも自分自身で状況を把握して、最善と思う判断をし、それに基づいて行動をしなくてはならないのです。決められたとおり、指示されたとおり、言われたとおり、だけでは、とても対応しきれないのです。

自分で判断をする。その判断に責任を持つ。そしてみんなで協力して状況を解決していくために、自分の考えたことを相手に伝える。当たり前のように、なかなかできていないことです。

私たちは、子どもたちの自立を促したいと思っています。しかしそれは、ピッチ上、すなわちサッカーの試合やトレーニングの場の中だけで心がけていても決して身についていかないこ

とです。サッカーの場だけ、コーチに言われたときだけ、では、決して真の自立にはいたりません。学校や家庭、みなさんの協力が不可欠です。

